

平成29年度
重篤災害発生報告書

公益社団法人
全国ビルメンテナンス協会

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害	2. 通勤災害		
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 5月		午前・午後 9時 00分頃		勤務先の作業員控室	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
男・女	68才	清掃	10年 5ヶ月	右肩 両膝 顔面	右肩・両膝部打撲 顔面・両膝部皮下出血 右上腕骨・骨頭骨折
					被災者休業日数
					1. 休業91日以上 2. 死亡
					<small>該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災害発生状況	・作業員控室から廊下へ出ようとしたところ、同じタイミングで入室してきた別の作業員と接触しそうになった。その際、体が前につんのめり、その勢いのまま廊下に飛び出してバランスを失い、顔面を床に打ちつけた(転倒の際、かばい手で右上腕部も骨折)。				-災害発生状況図-
考えられる原因	・作業を開始する為、慌てて廊下に飛び出した。 ・周囲の確認を怠った。				
再発防止対策	・「～かもしれない」と考え行動する。 ・慌てず、一呼吸おいてから行動する。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		①. 業務災害		2. 通勤災害	
災害発生日月日			災害発生時刻		災害発生場所
平成 29年 5月			①午前・午後 10時 05分頃		オフィスビル内
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
①男・女	64才	設備	2年 4ヶ月	頭部	脳挫傷
					被災者休業日数
					1. 休業91日以上 ②. 死亡
					該当箇所を○で囲んで下さい。
災 害 発 生 状 況	・オフィスビル3階の事務所で、天井に設置されたエアコンの温度設置中 使用していた脚立から落下した。				-災害発生状況図-
考 え ら れ る 原 因	・脚立使用時の安全保護具の未使用並びに天井内に入っでの作業のため 補助者がいなかった。				
再 防 止 対 策	・作業床までの高さが1m以上での作業については、必ず補助者含め2名以上で作業し 1m未満の場合でも業務上必要な場合は補助者を設けること。 ・脚立使用時は、ヘルメットの完全着用を義務づける。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 6月		午前・午後 11時 00分頃		帰宅途中の路上		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・ 女	58才	清掃	2年 2ヶ月	右足	右大腿骨頸骨骨折	1. 休業91日以上 2. 死亡 <small style="display: block; text-align: right;">該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災害発生状況	・業務を終え帰宅中、交叉点の縁石で足がすべり、バランスを崩し転倒、足の付け根また関節を負 ・救急搬送され右大腿骨頸骨骨折				-災害発生状況図- <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 150px; position: relative;"> </div>	
考えられる原因	・雨天の為、歩道の縁石も滑りやすくなっていた					
再発防止対策	・危険個所の注意喚起を強化する ・全職員へ安全管理について通達					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		② 通勤災害		
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 7月		① 午前 ・ 午後 6時 40分頃		通勤途中の直進道路		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男 ・ ① 女	44才	清掃	3年 10ヶ月	肋骨、左骨	骨折	① 休業91日以上 2. 死亡 <div style="text-align: right; font-size: small;">該当箇所を○で囲んで下さい。</div>
災 害 発 生 状 況	・自家用車で通勤中、時間を知るため 車内の時計を見た時、ハンドルを切り過ぎて 対向車にぶつかった。				-災害発生状況図-	
考 え ら れ る 原 因	・いつもは、車内の時計ではなくアラーム音で時間を確認しているのに、設定を忘れて 自分の運転席から少し見えづらい位置にある車内の時計を見た。 ・脇見運転が原因と推定					
再 防 止 対 策	・脇見運転をしない(運転に集中する) ・危険運転の感受性を高める。					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		①. 業務災害		2. 通勤災害	
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 8月		①午前・午後 8時 45分頃		店舗玄関前	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
男・①女	72才	清掃	0年 03ヶ月	左手首	骨折
					被災者休業日数
					①. 休業91日以上 2. 死亡
					<small>該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災 害 発 生 状 況	・小売店店舗玄関前で清掃中、自動洗浄機コードに足をとられ転倒し、左手首を負傷した。				-災害発生状況図-
考 え ら れ る 原 因	・本人の不注意と思われる。(足元の注意を怠ったため)				
再 防 止 対 策	・作業前の点検で資機材、作業空間を確認し、細心の注意を払い作業するように指導する。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		①. 業務災害		2. 通勤災害	
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 10月		午前・①午後 1時 20分頃		階段踊り場	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
①男・女	66才	設備	5年 04ヶ月	頭部・左肩・腰・肋骨	①. 休業91日以上 2. 死亡
					該当箇所を○で囲んで下さい。
災 害 発 生 状 況	・階段の踊り場壁面の吹き抜け部分に設置してある間接照明の蛍光灯の交換作業中 踊り場にあるロッカーの上で脚立を壁に斜めに立てかけた状態で蛍光灯を交換しようとして、 脚立を乗せた土台であるロッカーが作業員の重みで階段側に倒れた。バランスを崩した作業員が 壁面の吹き抜け部分から地上階段に転落した。				-災害発生状況図-
考 え ら れ る 原 因	・作業員はヘルメット及び安全帯を着用しておらず、二人一組の相方が上階からロープを使って 作業する段取りの最中に、一人で行動をし転落してしまった。				
再 防 止 対 策	・ヘルメット着用・二人一組等の基本的ルールを守り、経験などを過信しないよう徹底します。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		(2) 通勤災害	
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 10月		午前・午後 6時 00分頃		通勤途中の横断歩道	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
男・(女)	76才	清掃	31年 04ヶ月	左足	骨折
					被災者休業日数
					① 休業91日以上 2. 死亡
					該当箇所を○で囲んで下さい。
災害発生状況	・被災者は徒歩で出勤中、青信号が点滅し始めた横断歩道を渡っていたところ、後方から右折してきた新聞配達のバイクが転倒、被災者を巻き込んだ。				-災害発生状況図-
考えられる原因	・信号が点滅し始めた為、双方が急いでいた。 ・早朝でうす暗かった為、歩行者の発見が遅れた。 ・小雨で路面も滑りやすくなっていた。				
再発防止対策	・信号が点滅し始めたら横断歩道は渡らない。 ・横断道路を渡る際も周りには注意する。 ・暗くても目立つように明るい色の服装で通勤する。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月日			災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 10月			午前・午後 9時 00分頃		通勤途中の交差点	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・女	60才	清掃	1年 00ヶ月	右肋骨・右鎖骨	骨折	① 休業91日以上 2. 死亡 該当箇所を○で囲んで下さい。
災 害 発 生 状 況	・自動二輪車で走行中、交差点左側から赤信号で進入してきた自転車を避けようとして 転倒し受傷した。				-災害発生状況図-	
考 え ら れ る 原 因	・先方の信号無視					
再 発 止 対 策	・再度の交通ルールの徹底。					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 11月		午前・午後 6時 00分頃		通勤途中の横断歩道		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・ 女	75才	清掃	3年 06ヶ月	詳細不明	詳細不明	1. 休業91日以上 2. 死亡 <div style="text-align: right; font-size: small;">該当箇所を○で囲んで下さい。</div>
災 害 発 生 状 況	・横断歩道を横断中、左折してきた大型トラックに巻き込まれた。				-災害発生状況図-	
考 え ら れ る 原 因						
再 防 止 対 策						

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 11月		午前・午後 5時 25分頃		通勤途中の交差点		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・女	61才	清掃	4年 06ヶ月	腰部含全身	胸部圧迫死	1. 休業91日以上 2. 死亡 <small style="text-align: right;">該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災害発生状況	・国道の交差点で右折の為停止、右折信号が点灯後、進行中、信号無視の飲酒運転車両が直進してきた。救急搬送されたが、胸部圧迫により死亡。				-災害発生状況図- 	
考えられる原因	・相手方の飲酒運転					
再発防止対策	・信号が変わったから安全でなく、信号が変わった後も目視で対向車両や周辺状況の確認 ・飲酒運転の根絶へ向け、周知徹底 ・全職員へ安全運転について通達					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. <input checked="" type="radio"/> 業務災害	2. 通勤災害			
災害発生日月日			災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 12月			<input checked="" type="radio"/> 午前 ・ 午後 10時 00分頃		エレベーターホール	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男 ・ <input checked="" type="radio"/> 女	67才	清掃	6年 00ヶ月	右手首	右橈骨尺骨遠位端骨折	<input checked="" type="radio"/> 1. 休業91日以上 2. 死亡 <small style="display: block; text-align: right;">該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災 害 発 生 状 況	・エレベーターホールで剥離作業中、塗布した剥離剤に滑って転倒。 転倒した際について右手を骨折					-災害発生状況図-
考 え ら れ る 原 因	・滑り止めの保護具未着用					
再 発 防 止 対 策	・すべらネット等の保護具着用及び作業前のKYミーティング実施					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月日		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 12月		午前・午後 7時 50分頃		通勤途中の路上		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・ 女	54才	清掃	0年 10ヶ月	右腕	骨折	1. 休業91日以上 2. 死亡 該当箇所を○で囲んで下さい。
災害発生状況	・清掃作業に向かう途中、現場から50メートル付近の坂道で凍結した水たまりに足が滑り体を支えようと咄嗟に手をつき、右腕を痛めた。				-災害発生状況図- 	
考えられる原因	・路面凍結に加え、事故当日の朝に降雪があった為、凍結した水たまりに気づかなかった。					
再発防止対策	・全従業員に対して、凍結路面の歩行時の注意点について指導する。					

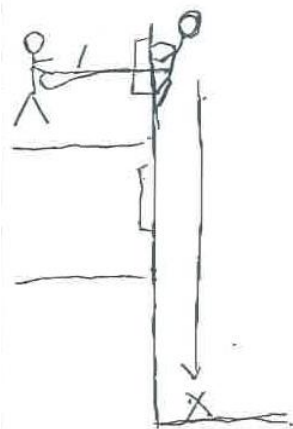
※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害	2. 通勤災害		
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 12月		午前・午後 9時 30分頃		保健福祉センター浴室	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
男・女	54才	清掃	5年 08ヶ月	右足小指	骨折
					被災者休業日数
					1. 休業91日以上 2. 死亡
					<small>該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災 害 発 生 状 況	・洗い場のポリッシャー後、水で洗剤を流していたところ、足が滑った。 その際、洗い場から浴槽に入る階段角に足をぶつけた。				-災害発生状況図-
考 え ら れ る 原 因	・靴底が摩擦して滑りやすくなっていた。 ・急いで作業していた為、注意がおろそかになっていた。				
再 防 止 対 策	・滑りにくいゴム底靴で作業する。 ・急がず安全・確実な作業を行うよう注意喚起する。				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害	2. 通勤災害		
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所	
平成 29年 12月		午前・ 午後 14時 50分頃		2階ガラス窓清掃中	
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名
男 ・女	43才	清掃	年 月		
					被災者休業日数
					1. 休業91日以上 2. 死亡
					該当箇所を○で囲んで下さい。
災 害 発 生 状 況	<p>・2Fガラス窓清掃中。引違い窓(腰窓)を室内から作業していたが、外面をする時作業しにくい所だった為、外にのり出し、作業中に足をすべらせ落下。命綱スリングベルトを他の1人に手で持たせていたが、体重を支えきれなかった。</p>				<p>-災害発生状況図-</p> 
考 え ら れ る 原 因	<p>・室内窓の所にソファと冷蔵庫があり、引違い窓の片側が作業しにくい状況だった為外にのり出して作業した。 また、2人で作業していて、命綱スリングベルトも装着していたので、もう1人に持たせ支えてもらえば大丈夫と考えたと思われる。</p>				
再 防 止 対 策	<p>・どんなに作業しにくい所でものり出し作業はしない。他の作業方法なども考え対応する。 ・安全帯、命綱において、人の体重を人は支えきれない。必ず体重を支えられる固定部に掛ける。 ・どうしてものり出して作業しないとできない場合には、お客様に事情を伝え、その部分のみ作業をしないなどの対応をとる。</p>				

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 12月		(午前)・午後 6時 30分頃		通勤途中の横断歩道		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・(女)	76才	清掃	10年 08ヶ月	全身	外傷性ショック	1. 休業91日以上 (2) 死亡 <small style="text-align: right;">該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災害発生状況	・早朝、仕事に向かうため、県道交差点の横断歩道を歩いて横断していた際、左から右折してきた乗用車にはねられた。 病院へ搬送されたが、外傷性ショックのため同日に死亡した。				-災害発生状況図-	
考えられる原因	・交通事故のため、警察が事故原因等を調査中					
再発防止対策	・通勤途中の事故の為、通勤災害となる。 ・安全衛生委員会等にて、冬期凍結時等の案内は、配付していたが、根本的な通勤中の注意事項等については再度指導し、早朝や夜間、また降雨・積雪時等の通勤に関しても注意するように周知徹底を図る。					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重篤災害発生報告書

災害区分		1. 業務災害		2. 通勤災害		
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 12月		午前・午後 7時 40分頃		店舗内ガラス窓清掃中		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・女	66才	清掃	5年 10ヶ月	左側頭部	陥没骨折	1. 休業91日以上 2. 死亡 <small>該当箇所を○で囲んで下さい。</small>
災害発生状況	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗内のガラス清掃中、被災者は風除室上部のガラス付近のクモの巣を取ろうとして脚立に登っている途中で落下した模様(現認者なし)。 ・落下音を聞いて駆けつけた現場責任者が倒れている被災者を発見して、直ちに救急搬送。 ・緊急手術は成功したが、同日容体が悪化して死亡。 				<p>-災害発生状況図-</p>	
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者は脚立作業(天板面の高さ1.99m)を単独で行っており、ヘルメットを着用していなかった。 ・脚立の天板に乗った可能性もあるが、現認者がいないため未確認。 ・現場に落ちていた箒を片手に持っていた可能性もある。 ・安全带については装着していなかった。 					
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・30/1/6全社の現場責任者を招集して緊急対策会議を開催。 ・脚立作業に当たっては、必ず2名で対応し、ヘルメットを着用すること。 ・風除室の底の上等に登る際には、脚立ではなく専用ハシゴを使用すること。 ・脚立の天板には「乗るな」という注意文言を貼付する等の対策を実施すること。 					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。

重 篤 災 害 発 生 報 告 書

災害区分		1. 業務災害	2. 通勤災害			
災害発生日月		災害発生時刻		災害発生場所		
平成 29年 12月		午前・午後 9時 00分頃		階段踊り場		
被災者性別	被災者年齢	被災者職種	被災者経験年数	被災者災害部位	被災者傷病名	被災者休業日数
男・女	66才	清掃	0年 02ヶ月	左肘・肋骨	骨折・亀裂骨折	1. 休業91日以上 2. 死亡
該当箇所を○で囲んで下さい。						
災 害 発 生 状 況	・階段踊り場を後ろ向きに下がりながらモップ掛けをしていたところ 踊り場の端まで到達したことに気付かず足を踏み外して転落した。				-災害発生状況図-	
考 え ら れ る 原 因	・後ろ向きに下がりながらモップ掛けを行なった為、階段に気がつかなかった。					
再 防 止 対 策	・後ろ向きのモップ掛け作業を前方向へ変更する。					

※1. 重大な災害が発生した時は、直ちに本報告書にご記入の上、FAXにて送付して下さい。